

	市町村	氏名	表彰事由となる職	活動概要
1	鳥取市	みずた のりお 水田 憲夫	現 じょうほく 城北地区自治連合会会長	地区まちづくり協議会や町内単位の自主防災会等の各種団体と連携して災害時の情報連絡網の整備、防災訓練・研修の実施、避難方法・避難場所の周知等、良好な地域社会の維持及び形成に貢献した。
2	鳥取市	もりた まつお 森田 松雄	現 しょうり 倭文自治会区長	自分達を取り巻く課題を住民自らが検討し、地域が一体となって課題解決に向けて取り組む活動を永年行い、児童の安全確保のために通学路への防犯灯設置や登下校時を中心とした見守り活動等を行うなど、少年健全育成、地域防犯活動に大きく貢献した。
3	米子市	くろだ まさとし 黒田 昌稔	現 よねはらちやく 米原八区自治会会長	自治会内の役員、子ども会、老人会が協力してレクリエーション事業「ふれあいフェスティバル」を毎年開催、老人会と子ども会が一緒に行って交流する一斉清掃、地域内の企業と一時避難所の協定締結など、住民相互の交流と企業と自治会と連携に貢献した。
4	米子市	しんみ ひろし 新見 博士	現 はたがさきよんく 旗ヶ崎四区自治会会長	年4回「防災かわら版」を発行し、在宅福祉員、民生委員、自治会長の持つ情報を共有して支え愛マップを作成し、定期的な防災訓練を清掃活動後に行うことで子どもから大人まで参加するように工夫するなど、防災意識の向上と地域と子どもと一緒に活動できる活動に努めた。
5	米子市	かとう あきら 加藤 朗	現 か もよんく 加茂四区自治会会長	集合住宅の住民に対する独自の加入促進活動や、市の一斉清掃において会員か否かを問わず広報して地域全体で取り組める活動としたほか、集会所で高齢者、住民、子供向けの様々なサロン活動を企画運営するなど、住民相互が楽しく繋がりが持てる地域づくりを進めた。
6	倉吉市	わきさか こうじ 脇坂 幸司	元 しんまち 新町3丁目自治公民館館長	地域の文化資源を発掘して物語を創作し、豊田家住宅にて倉吉の歴史講談を行うほか、地域の生活道路の草刈りや河川の管理、要望活動等を通じた用水路・防犯灯・カーブミラー整備等、住民の生活環境の向上にも努めた。
7	倉吉市	もり やすお 森 康雄	元 なかがわらに 中河原二自治公民館館長	自身の田を開放して県立倉吉養護学校の生徒への農業体験指導や地域の保育園児、小学生及び住民を対象とした椎茸の食菌体験学習会を実施するなど、地域内の学校等と地域住民との交流づくりに努めた。
8	境港市	とだ やすお 戸田 泰雄	現 あさひかい 朝日会会長	25世帯の小さな自治会であるが、常に住民とコミュニケーションをとることで、住民の方がいつでも意見を言える雰囲気を作り、住民相互の意見交換を通じた住みよいまちづくりに尽力した。
9	境港市	やまね たかゆき 山根 孝行	現 ひがしきょうまち 東京町自治会会長	月1回の懇親会や花見等を行い、住民同士のコミュニケーションを構築した。氏のリーダーシップにより、住民の交流が活発となり、意見交換がしやすくなるなど、住みよいまちづくりに貢献した。